

## 平成30年度離島漁業再生支援交付金事業の実施状況

4 漁業集落の離島漁業再生支援交付金事業の実施状況は以下のとおりであった。

### 「御所浦漁業集落」

#### 1. 集落協定の概要

都道県名：鹿児島県

市町村名：長島町

「島名：獅子島」

協定締結集落名：御所浦漁業集落

交付金額：4,752千円

協定参加世帯数：35世帯（うち漁業世帯34世帯）

鹿児島県の都市部の平均勤め先収入 3,488,618円

集落漁業者平均所得 1,288,583円



#### 2. 協定締結の経緯

西側は東シナ海に、また東側は八代海に面し、自然海岸や藻場の広がる長島町海域は、良好な自然環境を有し、本町漁業者にとって貴重な漁場であり、漁業者も自ら周辺水域の有効利用を図ってきた。しかしながら、本町においても、漁業者の減少や高齢化が進み、このまま放置すれば、漁業は一層衰退し、漁村における多面的機能も失われていく懸念がある。

このため、集落において、漁場の保全や利用に関する話し合いを通じて集落機能を再編する。また、必要な場合には既存の慣行を見直し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組むために離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むことにした。

#### 3. 取組の内容

##### ① 漁場の生産力の向上に関する取組状況

- (1) 漁業資源を培養するためアワビ放流（平成31年2月21日、3,000個）アワビ、アサリ追跡調査（6月14日、9月9日）を実施した。
- (2) 藻場の保全のためにガンガゼ（鬼ウニ）駆除（7月14日、8月26日）を実施した。

- (3) イカ資源の培養を図るためイカシバ27束を6箇所投入（6月23日、7月6日、11月18日）し、産卵確認のための追跡調査（7月4日、18日、12月15日）を実施し、タコ資源培養のために産卵用のタコ壺332個投入（9月13日、15日）し、産卵確認のための追跡調査（10月16日）を実施した。また、間伐材で簡易木材保育礁12基を作成し12箇所に投入した。（10月14日、21日、11月8日、12月1日）
- (4) アワビ、ウニ、イカなどの密漁監視（6月12日、26日、7月12日、8月3日）を実施した。

## ② 漁業の再生に関する実践的な取組状況

無給餌養殖を推進し、漁業所得を向上させるために昨年に引続き岩牡蠣の養殖試験に取組み、本年度から試験販売を実施した。

## 4. 取組の成果

### ① 漁場の生産力の向上に関する成果

- (1) アワビ稚貝を継続して放流することにより資源の増殖が図られた。追跡調査により生育状況を確認することができた。
- (2) ガンガゼの駆除を行うことにより藻場の保全が図られた。
- (3) イカシバを投入することによりイカ資源の培養が図られた。イカシバ投入後の産卵調査でイカの産卵が確認され、タコ壺投入により、マダコの産卵場所を確保し資源の増殖を図った。産卵用タコツボ投入後の追跡調査でマダコの産卵が確認された。また、稚仔魚の生育場所となる木製の簡易保育礁12基を投入することにより資源の培養が図られた。
- (4) 漁場監視を実施することにより密漁の防止が図られた。

### ② 漁業の再生に関する実践的な取組事業の成果

昨年に引続き岩牡蠣の垂下式試験養殖に取組んだ。成長は順調で大きいものは殻長16cmまで成長した。

本年度漁業権を取得したので試験販売を実施するために、福岡市において岩牡蠣を出荷するための貝毒検査や海水の水質検査の頻度や出荷方法、出荷時期等について打合せを行った。

試験販売をした結果評価も良く80,447円の売上げがあった。

岩牡蠣の垂下式試験養殖を継続して実施するための養殖場の整備を行い、長島町水産種苗センターより岩牡蠣の稚貝3,000個を購入し、ネットに入れ吊り下げ引き続き成長を見守ることにした。

## 「片側漁業集落」

### 1. 集落協定の概要

都道県名：鹿児島県

市町村名：長島町

「島名：獅子島」

協定締結集落名：片側漁業集落

交付金額：1,263千円

協定参加世帯数：9世帯（うち漁業世帯9世帯）

鹿児島県の都市部の平均勤め先収入 3,488,618円

集落漁業者平均所得 2,080,803円



### 2. 協定締結の経緯

西側は東シナ海に、また東側は八代海に面し、自然海岸や藻場の広がる長島町海域は、良好な自然環境を有し、本町漁業者にとって貴重な漁場であり、漁業者も自ら周辺水域の有効利用を図ってきた。しかしながら、本町においても、漁業者の減少や高齢化が進み、このまま放置すれば、漁業は一層衰退し、漁村における多面的機能も失われていく懸念がある。

このため、集落において、漁場の保全や利用に関する話し合いを通じて集落機能を再編する。また、必要な場合には既存の慣行を見直し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組むために離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むことにした。

### 3. 取組の内容

#### ① 漁場の生産力の向上に関する取組状況

- (1) イカ資源の培養を図るためイカシバ投入（平成31年1月29日）を実施した。
- (2) アワビ、イワガキの密漁監視（4月21日）を実施した。

#### ② 漁業の再生に関する実践的な取組状況

無給餌養殖を推進し、漁業所得を向上させるために昨年に引続き岩牡蠣の養殖試験に取り組む、本年度は試験販売も実施した。

### 4. 取組の成果

#### ① 漁場の生産力の向上に関する成果

- (1) イカシバを投入することにより、イカ資源の培養が図られた。
- (2) 漁場監視を実施することにより密漁の防止が図られた。

② 漁業の再生に関する実践的な取組事業の成果

昨年に引続き岩牡蠣の垂下式試験養殖に取り組んだ。成長は順調で大きいもので殻長16cmまで成長した。

本年度漁業権を取得したので試験販売を実施するために、福岡市において岩牡蠣を出荷するための貝毒検査や海水の水質検査，出荷方法，出荷時期等について打合せを行った。試験販売をした結果評判も良く99,682円の売上げがあった。

来年度も岩牡蠣の垂下式試験養殖を継続して実施するための養殖場の整備を行い，長島町水産種苗センターより岩牡蠣の稚貝3,000個を購入し，ネットに入れ養殖場のロープに吊り下げ引き続き成長を見守ることにした。

## 「幣串漁業集落」

### 1. 集落協定の概要

都道県名：鹿児島県

市町村名：長島町

「島名：獅子島」

協定締結集落名：幣串漁業集落

交付金額：7,989千円

協定参加世帯数：57世帯（うち漁業世帯57世帯）

鹿児島県の都市部の平均勤め先収入 3,488,618円

集落漁業者平均所得 620,304円



### 2. 協定締結の経緯

西側は東シナ海に、また東側は八代海に面し、自然海岸や藻場の広がる長島町海域は、良好な自然環境を有し、本町漁業者にとって貴重な漁場であり、漁業者も自ら周辺水域の有効利用を図ってきた。しかしながら、本町においても、漁業者の減少や高齢化が進み、このまま放置すれば、漁業は一層衰退し、漁村における多面的機能も失われていく懸念がある。

このため、集落において、漁場の保全や利用に関する話し合いを通じて集落機能を再編する。また、必要な場合には既存の慣行を見直し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組むために離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むことにした。

### 3. 取組の内容

#### ① 漁場の生産力の向上に関する取組状況

- (1) 漁業資源を培養するためアワビ種苗放流（平成31年2月21日3,500個）、アワビ追跡調査（平成31年2月25日）を実施した。
- (2) 藻場・漁場を維持管理するために、赤潮避難漁場のロープ等の清掃（6月7日、7月24日）、アオサ漁場支障流木等の撤去（11月9日）、ガンガゼ（鬼ウニ）駆除（9月9日、11月10日、平成31年2月24日）を実施した。また、アマモの追跡調査（8月11日）を実施した。
- (3) イカ資源を培養するためイカシバ400束を4箇所投入（12月8日、10日）を実施し、その後産卵状況を調査（平成31年2月9日、26日）した。タコ資源培養のためタコ壺274個を6箇所に投入（9月12日、13日）し、その後産卵状況を調査（9月24日、10月13日、22日、29日）した。また、稚仔魚の生育場所を確保するために木製の簡易保

- 育礁21基を作成し9箇所投入した。(10月28日, 11月18日, 平成31年1月20日)
- (4) 赤潮プランクトン調査(8月20日, 21日, 22日, 23日, 30日, 31日, 9月1日,)を実施し, アワビや岩牡蠣の夜間密漁監視(8月4日, 10月16日, 12月17日, 平成31年2月9日)を実施した。

## ② 漁業の再生に関する実践的な取組状況

無給時養殖を推進し, 漁業所得を向上させるために昨年に引続き岩牡蠣の養殖試験に取組み, 本年度は試験販売も実施した。

干シタコの簡易加工を行い試食販売(販売促進活動)を行った。また, アカモクの簡易加工や地元で獲れる魚のイベント等での販売を実施した。

## 4. 取組の成果

### ① 漁場の生産力の向上に関する取組成果

- (1) アワビを継続して放流することにより資源の培養が図られた。
- (2) ガンガゼの駆除やアマモ場の管理を実施することにより藻場が広がり稚仔魚の保育場が広がるのが期待できる。また, アオサ漁場支障流木撤去や赤潮避難漁場のロープ等の清掃を実施することにより漁場の保全が図られた。
- (3) イカシバ, 産卵用タコ壺の投入により, イカ資源及びタコ等の資源の培養が図られた。追跡調査によりイカ, タコの産卵を確認することができた。
- (4) 稚仔魚の生育場所となる木製の簡易保育礁を投入することにより資源の培養が図られた。
- (5) 赤潮プランクトン調査を行い赤潮警戒を行ったことにより赤潮被害を未然に防ぐことができた。夜間密漁監視を実施することにより密漁防止が図られた。

### ② 漁業の再生に関する実践的な取組事業の成果

昨年に引続き岩牡蠣の垂下式養殖に取組んだ。成長は順調で大きいもので殻長15cmまで成長した。

本年度漁業権を取得したので試験販売を実施するために, 福岡市において岩牡蠣を出荷するための貝毒検査や海水の水質検査, 出荷方法, 出荷時期等について打合せを行った。試験販売をした結果, 味も良いと評価が高く111,050円売上げることができた。

岩牡蠣の垂下式試験養殖を継続して実施するための養殖場の整備を行い, 長島町水産種苗センターより岩牡蠣の稚貝3,000個を購入し, ネットに入れ養殖場のロープに吊り下げ引き続き成長を見守ることにした。

干しタコの加工を行い、鹿児島市内のイベント会場で試食販売した。干しタコを使ったタコ飯は、お客様からとてもおいしいと高評価を得て干しタコ14個、タコ飯の具20個を完売し49,600円の売上げがあった。今後もイベント等へ積極的に参加し、試食販売を実施し販路を拡大していきたい。

また、本年度から今まで利用していなかったアカモクの簡易加工をするために福岡県の宗像漁協で研修を実施し、加工するための設備等を学び自分達で地元のアカモクを収穫し加工してみたが、アカモクに粘りが無かった。収穫した時期が早すぎてアカモクが成熟していなかったことが原因と思われるので来年は収穫時期を検討し簡易加工に取り組んでいきたい。

また、長島町内のイベントにおいて、地元で獲れた安価な魚の試食販売を4回実施し、来場されたお客様から新鮮で美味しいと高評価をいただき87,430円売上げることができた。来年度も継続して実施し、魚食普及を行い販売促進につなげていきたい。

## 「湯ノ口漁業集落」

### 1. 集落協定の概要

都道県名：鹿児島県

市町村名：長島町

「島名：獅子島」

協定締結集落名：湯ノ口漁業集落

交付金額：2,097千円

協定参加世帯数：15世帯（うち漁業世帯15世帯）

鹿児島県の都市部の平均勤め先収入 3,488,618円

集落漁業者平均所得 870,890円



### 2. 協定締結の経緯

西側は東シナ海に、また東側は八代海に面し、自然海岸や藻場の広がる長島町海域は、良好な自然環境を有し、本町漁業者にとって貴重な漁場であり、漁業者も自ら周辺水域の有効利用を図ってきた。しかしながら、本町においても、漁業者の減少や高齢化が進み、このまま放置すれば、漁業は一層衰退し、漁村における多面的機能も失われていく懸念がある。

このため、集落において、漁場の保全や利用に関する話し合いを通じて集落機能を再編する。また、必要な場合には既存の慣行を見直し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組むために離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むことにした。

### 3. 取組の内容

#### ① 漁場の生産力の向上に関する取組状況

- (1) 藻場・漁場の維持管理をするために鬼ウニ駆除（9月8日）を実施した。
- (2) イカ資源を培養するためイカシバ450束を15箇所投入（6月25日、平成31年1月19日）し、その後産卵状況を確認するために追跡調査（7月27日、平成31年2月22日）を実施した。また、木製の簡易保育礁3基作成し3箇所に投入した。（10月28日）

#### ② 漁業の再生に関する実践的な取組状況

無給餌養殖を推進し、漁業所得を向上させるために昨年に引続き岩牡蠣の養殖試験に取り組んだ。

#### 4. 取組の成果

##### ① 漁場の生産力の向上に関する成果

- (1) ガンガゼ（鬼ウニ）の駆除を行うことにより藻場の保全が図られた。
- (2) イカシバの投入により、イカ資源の培養が図られた。また、追跡調査によりイカの産卵を確認することができた。
- (3) 稚仔魚の生育場所となる木製の簡易保育礁を投入することにより資源の培養が図られた。

##### ② 漁業の再生に関する実践的な取組事業の成果

引続き岩牡蠣の垂下式試験養殖に取組んだ。成長は順調で大きいものは拡張17cm、700gに成長していた。

本年度漁業権を取得したので試験販売を実施するために、福岡市において岩牡蠣を出荷するための貝毒検査や海水の水質検査、出荷方法、出荷時期等について打合せを行った。試験販売をした結果、お客様から味も良いと評価が高く78,400円売上げることができた。岩牡蠣の垂下式試験養殖を継続して実施するための養殖場の整備を行い、長島町水産種苗センターより岩牡蠣の稚貝3,000個を購入し、養殖漁場にネットに入れロープで吊り下げ引き続き成長を見守ることにした。